

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-02-01	事務事業名 西東京市地球温暖化対策実行計画の推進(エコアクション21の運用)	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	---	-------------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	行政運営を通じた環境負荷の低減、環境保全事業の推進。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	西東京市では、平成20年度から環境マネジメントシステムであるエコアクション21を運用している。このシステムは、温室効果ガス排出量、廃棄物排出量、水道使用量の削減が必須項目となっている。また、このシステムを運用するためには外部機関からの審査を定期的(2年毎に更新審査、その間に中間審査)に受ける必要がある。審査には、環境配慮行動チェックリスト等を用いて実施される。 (予算:4.1.4.5地球温暖化対策事業費)	
	事業開始時期	20年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		5,305	884	3,541	420
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		5,305	884	3,541	420
所要人員(B)	人	1	1	0.9	1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,165	8,080	7,272	8,165
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	13,470	8,964	10,813	8,585
単位当たりコスト(E)=(D)/(環境配慮行動チェック項目数)	千円	148	113	137	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 環境配慮行動チェック項目数	実績値 個	91	79	79	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
<一次>「環境配慮行動チェックリスト」は、日常業務における環境配慮行動を推進するにあたり、各課・各施設等における取組み内容を確認し、その内容を点検・評価するためのものである。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 チェック項目実施率	目標値 %	80	90	90	100
	実績値 %	90	90	90	
二次 温室効果ガス排出量	目標値 tCO2	6,802	6,802	6,802	6,802
	実績値 tCO2	7,403	7,137		
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
<1> 職員の日常業務における環境配慮行動の確認を「環境配慮行動チェックリスト」により把握する。					
<2> 「西東京市地球温暖化対策実行計画」に基づく温室効果ガスの削減にあるため。※平成22年度は集計中。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	エコアクション21審査機関からは、エコアクション21を複数年継続運用することによって、その効果が現れると聞いている。事実、市庁舎等公共施設から排出される温室効果ガスの量は年々減少しており、職員間においても環境に対する意識が浸透して来ている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 エコアクション21を認証取得している団体、企業等は全国で6,430ある。このうち公共機関等は全国で22の団体等が取得している。都内では北区、荒川区、西東京市の3団体が取得している。(平成23年5月末現在)
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ISO14001等他の環境マネジメントシステム規格や認証規格がない環境マネジメントシステムがある。

事業コード 08-02-01	事務事業名 西東京市地球温暖化対策実行計画の推進（エコアクション21の運用）	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	---	-------------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>西東京市の公共施設の環境負荷削減及び環境保全事業の推進のため、エコアクション21規格に基づき、環境方針を定め、環境負荷の低減及び環境保全事業に取り組んでいる。この環境マネジメントシステムの運用により、各課独自目標設定等を新たに取り込むことで環境配慮行動の実践に効果があるため、今後も継続実施する必要があると考える。また、市内中小事業者から排出される温室効果ガス削減にも一定の効果が期待されることから、エコアクション21の普及を市内中小事業者に図るため、市が率先して運用する必要がある。</p> <p>各課の目標の設定に活動指標を取入れる等の改善をしつつ、学校施設への展開を継続する。また、エコアクション21事務局と連携し、市内中小事業者を対象に平成21年度に引続き平成23年度も認証取得セミナーを実施する。</p> <p>環境マネジメントシステムはエコアクション21だけではなく、自庁内で独自に開発したシステムを運用している自治体もあるため、今後システムの見直し等についても検討をしていく。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>本市においては、平成20年度からエコアクション21の運用を行ってきているが、職員の環境に対する意識が徐々に浸透し、確実に環境負荷の低減に繋がっていると考えられる。今後、更に運用方法について再評価を行い、よりいっそうの職員の環境意識の向上に努める必要がある。また、市内の中小事業所がエコアクション21の認証事業所になっていくことで、市全体の地球温暖化の対策の推進となると考えられることからセミナーの参加事業所が増えるような広報が望まれる。なお、検討課題としている環境マネジメントシステムの見直しについては、平成25年度の環境基本計画の策定に併せ、現在のシステムの評価を行った上で検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、環境マネジメントシステムにより環境に配慮した事務事業の実施に努めることで、環境負荷の低減を図る取組であり、市の社会的責任の観点からも必要性の高い事業である。</p> <p>ただし、平成25年度に次期環境基本計画を策定する際には、現在のエコアクション21による評価・検証の取組について、費用対効果等を改めて検証されたい。</p>